

## 4. 弘法山公園の利活用に向けた課題

弘法山公園利活用の計画条件及び弘法山公園の利活用に関するニーズから考えられる、弘法山公園の利活用に向けた課題は以下の通りです。また、各地域における主な課題を解決すべく、次頁の通りゾーニングしました。

表 弘法山公園の利活用に向けた主な課題

項目	主な課題
上位関連計画からの課題	・弘法山公園を活用した3駅周辺の活性化
	・馬場道広場などの有効活用
	・各種維持管理（景観の保全、トイレ等の維持管理）
	・市民による有効活用の促進
現況とポテンシャルからの課題	・公園周辺を含めた魅力向上（散策路・展望空間等の安全対策・利便性向上、情報発信の強化、希少植物の保全・活用、山ビル対策 等）
	・利用機能の強化（アクセスの強化、景観や動植物資源の利活用の強化、イベントの実施 等）
	・来訪者の増加及び消費拡大等の地域活性化
	・市有地の活用、景勝地などの用地取得の検討
来訪者ニーズからの課題	・施設整備（園内及び登山道等サインの充実、駐車場増設やバリアフリー化、園路の改良、飲食・物販施設の整備、ベンチ・トイレ等の増設、野鳥観察施設の修理 等）
	・管理運営（イベントの定期開催、眺望障害木の除去、トイレの清掃管理 等）
	・環境保全（現在の自然環境の保全）
地域ニーズからの課題	・豊かな自然環境の保全・活用（眺望の保全、森林セラピーロードの魅力向上、遠足利用 等）
	・利便性の向上（駐車場の拡充、施設や園路のユニバーサルデザイン化、道標の充実、シェアサイクルの導入）
	・周遊性の向上（3駅からのハイキングコースの適正管理、商店街での購買優遇制度の導入 等）
	・広報宣伝の展開（歴史・文化資源のPR、公共交通事業者と連携したPR、公園マップの作成）
	・各種整備（飲食・物販施設、自然観察の森、農産物直売所、観光農園、子供の遊び場 等）



A まちなか観光促進ゾーン	B 里山活用促進ゾーン	C 誘客促進拠点ゾーン	D 歴史資源周遊促進ゾーン	E 温泉癒し促進ゾーン
<p>各商店会と河川敷を通る2つのハイキングコースがあるため、コース沿いにあるお店や文化財、名水等の地域資源を活用した取組が必要です。</p> <p>また、まちなか観光を促進するため、地域住民に配慮しながら、地域活性化につながる新たなコース設定や取組が必要です。</p> <p>加えて、ハイカー等が通過する時間帯を見据えたうえで、定期的なイベントを開催する等、既存の観光客の取り込み策が必要です。</p>	<p>「はだのクリーンセンター建設に伴う便利施設周辺の土地利用方針」の趣旨を踏まえたうえで、里山を活用した取組が必要です。</p> <p>また、「名水はだの富士見の湯」と連携した取組や整備により、新たな誘客を生む取組が必要です。</p> <p>加えて、農業体験機能の創出として、「はだのクリーンセンター」の余熱の活用等を利用した検討も必要です。</p>	<p>3駅をつなぐ観光拠点として、ハイカー等の観光客の需要に応え、誰もが安全・安心に利用できるよう維持管理や整備をするほか、弘法山公園を拠点に活動する団体等とも連携した取組が必要です。</p> <p>また、弘法山公園の魅力である優れた景観や豊かな自然環境を活かした新たな魅力づくりが必要です。</p> <p>加えて、周辺には十分に活用されていない広場等があるため、有効な利活用について検討が必要です。</p>	<p>弘法山公園の利用に東海大学前駅を利用する人は少なく、情報も少ないため、アクセス強化や情報発信が必要です。特に、弘法山公園から東海大学前駅までのハイキングコースでは、お店や文化財等の地域資源を活用した取組により魅力の向上を図るほか、道標の整備や効果的な広報宣伝等が必要です。</p> <p>また、学生街という特長を活かした誘客促進策の検討も必要です。</p>	<p>「鶴巻温泉」等を活かした、にぎわい創造に加え、鶴巻温泉旅館組合等の事業者と連携したイベント開催や商品開発等の取組が必要です。</p> <p>また、小田急電鉄や神奈川中央交通等の交通機関や観光事業者等との協働による弘法山公園の魅力の情報発信も重要です。</p> <p>加えて、鶴巻温泉等との協働による弘法山公園利活用プロジェクトの展開が求められます。</p>

## 5. 弘法山公園利活用方針（案）

### 1) 弘法山公園利活用の基本理念

弘法山公園は、「豊かな自然環境」や「優れた眺望景観」、「多くの歴史・文化資源」、市街地からも近く3駅（秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅）から訪れることができる「立地の良さ」など、多くのポテンシャルを秘めた公園です。利活用を考えるに当たり、これらの魅力を磨き上げ、融合した取組を進めることで、相乗効果により更に魅力的な公園となり、周辺地域を巻き込んだ一体的な地域活性化にもつながると考えます。

このような考えから、弘法山公園利活用の基本理念を「気軽にお出かけ『弘法の郷』～悠々たる『魅力』と3駅『にぎわい』の創出～」とします。

#### ◆ 弘法山公園利活用の基本理念

気軽にお出かけ『弘法の郷』  
～悠々たる『魅力』と3駅『にぎわい』の創出

#### 【基本理念の解説】

基本理念の「弘法の郷」には、弘法山公園及びその周辺地域は、誰もが気軽に来訪でき、多くの魅力が詰まった場所にしたいという意味を込めました。

また、「悠々」は、弘法大師の名言の一つで、「はるかに限りない」という意味があります。現在も点在している多くの魅力に加え、利活用方針に基づき創出される新たな魅力、そして、それらがもたらす3駅のにぎわいなど、限りない可能性が秘められています。

## 2) 弘法山公園利活用の基本方針

弘法山公園利活用の基本理念を踏まえ、基本方針を以下の通り設定します。

### ① 弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

弘法山公園の持つ、美しい森林、野生植物、桜や紅葉等の魅力的な自然環境をはじめ、富士山や大山、相模湾等への優れた眺望・景観等の、豊かな観光資源を適切に保全するとともに、磨き上げることにより、「弘法山公園の持つ豊かな観光資源の魅力アップ」を図ります。

### ② 豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”

弘法山公園の利活用に関する来訪者や地域のニーズを踏まえ、弘法山公園の豊かな自然環境や優れた眺望・景観、歴史・文化資源等の、「豊かな自然を活かした弘法山公園の新たな魅力づくり」を検討します。

### ③ 弘法山公園を核としたネットワーク強化による“3駅のにぎわいづくり”

地域住民、秦野駅・東海大学前駅・鶴巻温泉駅商店街や関係事業者等との連携による、「弘法山公園を核とした観光ネットワークの強化による3駅のにぎわいづくり」を進めます。

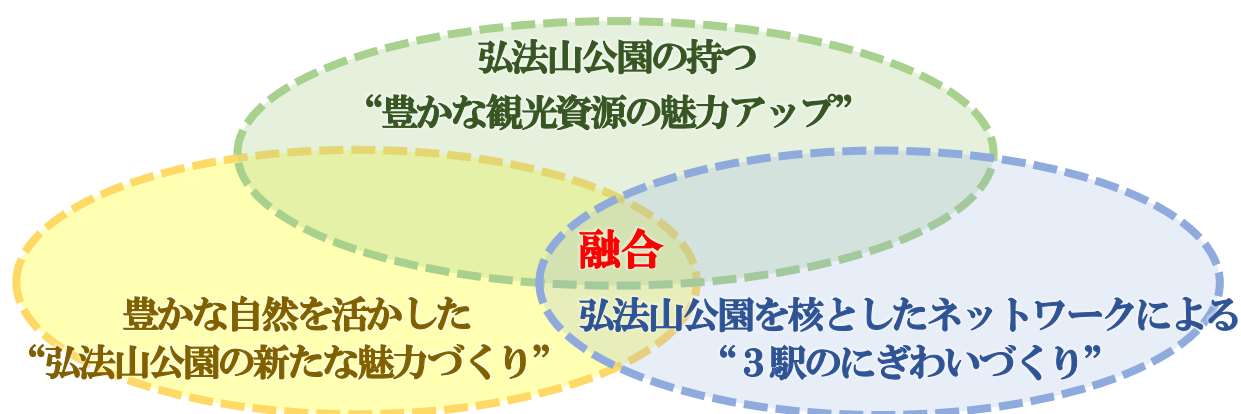
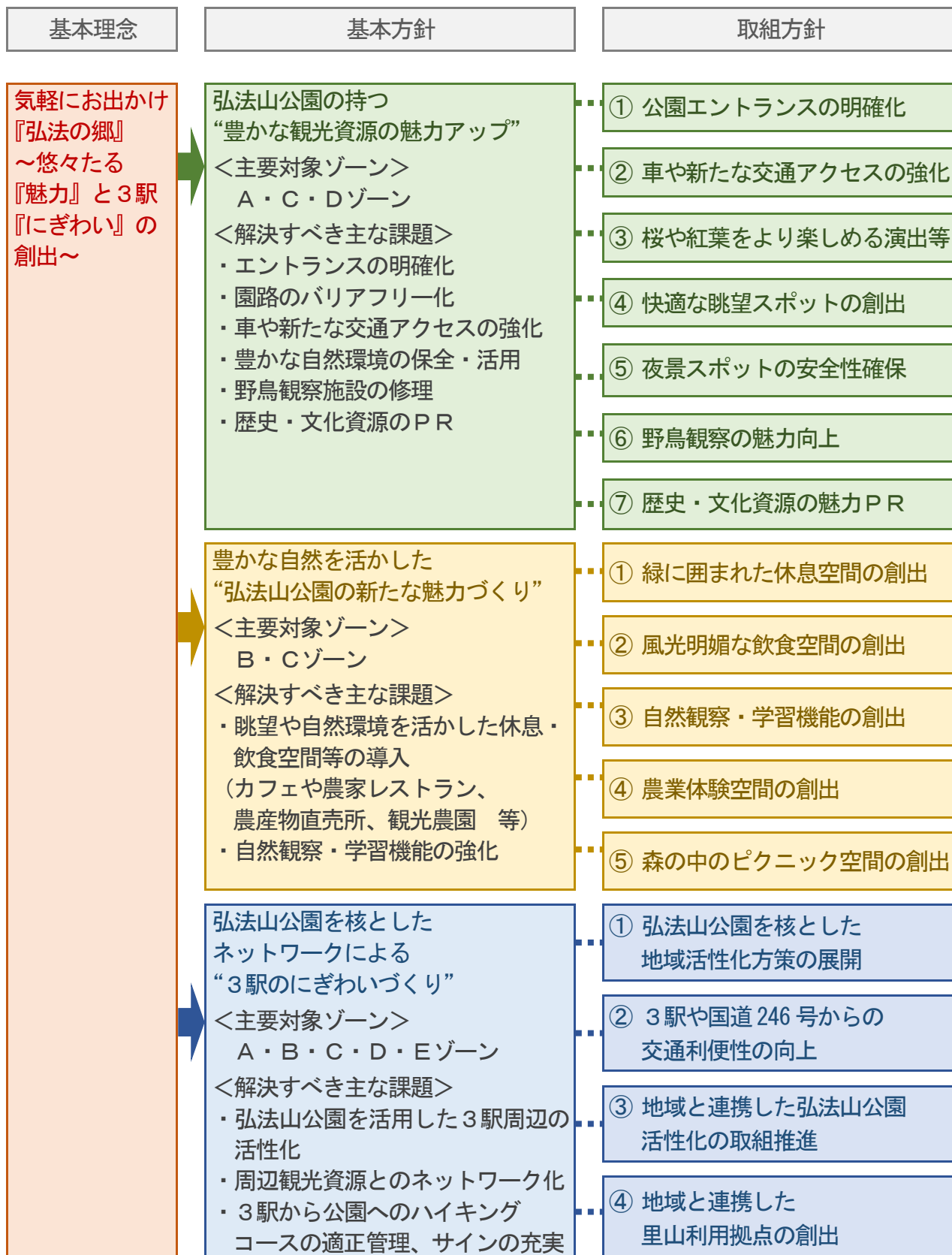




図 弘法山公園利活用の基本方針のイメージ

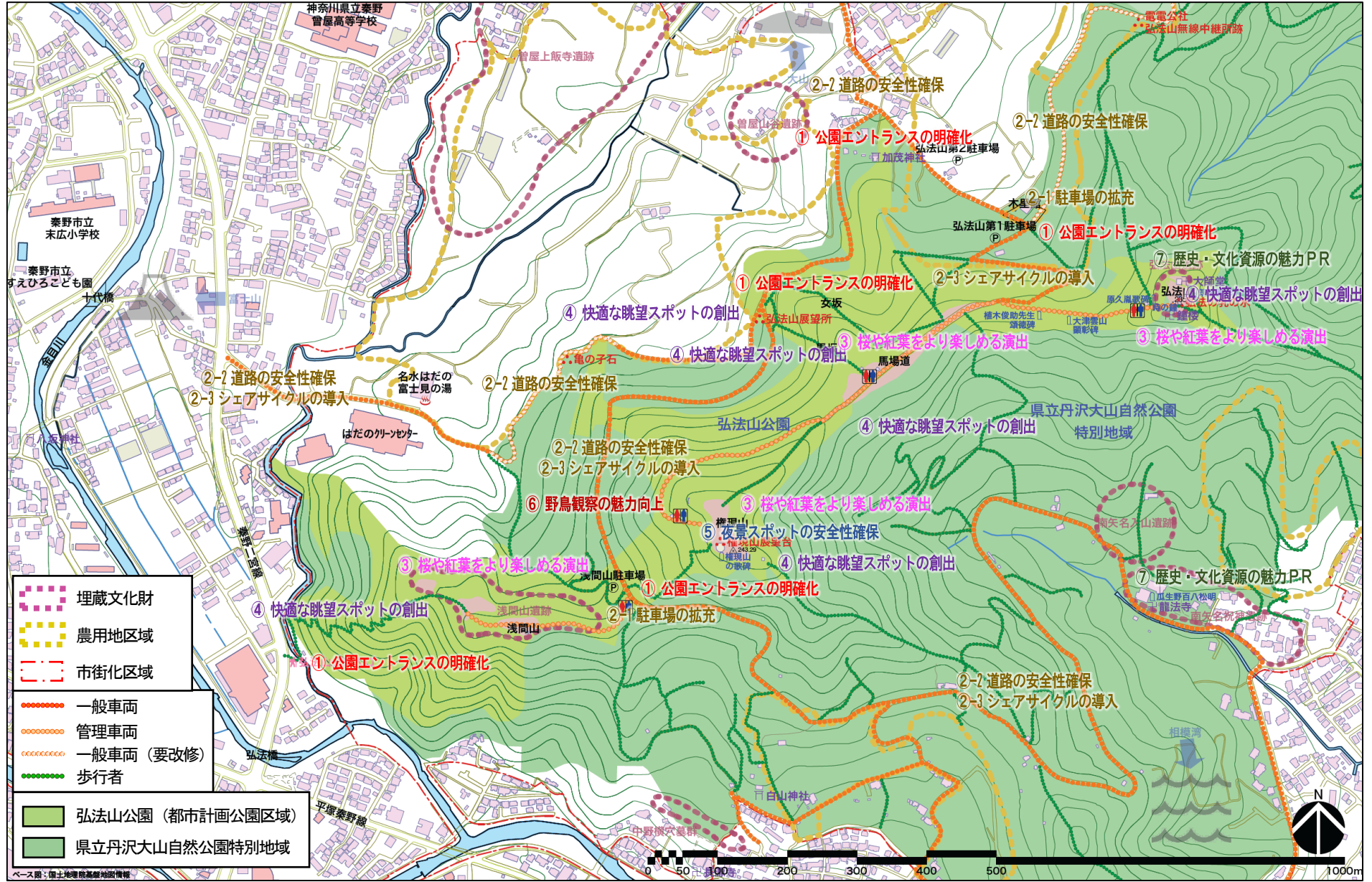
### 3) 弘法山公園利活用に係る取組の体系

弘法山公園利活用の基本方針に基づく「弘法山公園利活用に係る取組の体系」は以下のとおりです。








#### 4) 基本方針1：弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

取組方針	主な検討内容
<p>① 公園エントランスの明確化</p>	<p>公園の各入口周辺における道標や看板の更新・設置等  <b>【対象箇所】</b>                      弘法山公園入口、弘法山第1駐車場付近、浅間山駐車場付近</p>
<p>② 車や新たな交通アクセスの強化</p>	<p>駐車場の拡充、道路の安全性確保、シェアサイクル等の導入 等  <b>【対象箇所】</b>                      弘法山公園及びその周辺                      ※写真：サイクリングのイメージ</p> 
<p>③ 桜や紅葉をより楽しめる演出等</p>	<p>イベントの定期開催、地元商業者による出店、桜や紅葉のライトアップ、適正な維持管理 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、弘法山、馬場道</p>
<p>④ 快適な眺望スポットの創出</p>	<p>眺望障害木の除去、眺望スポットの改善・創出、ベンチ等の設置 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、弘法山、馬場道 ほか                      ※写真：馬場道広場からの富士山</p> 
<p>⑤ 夜景スポットの安全性確保</p>	<p>園路照明の設置、園路の安全性確保（ユニバーサルデザイン化） 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、馬場道</p>
<p>⑥ 野鳥観察の魅力向上</p>	<p>バードサンクチュアリの改修、野鳥紹介看板の更新、課外授業等による利用の促進 等  <b>【対象箇所】</b>                      権現山 ほか</p>
<p>⑦ 歴史・文化資源の魅力PR</p>	<p>歌碑等を活用したイベント（前田夕暮等）、伝統行事のPR（瓜生野百八松明等） 等  <b>【対象箇所】</b>                      権現山、弘法山、馬場道、龍法寺 ほか</p>

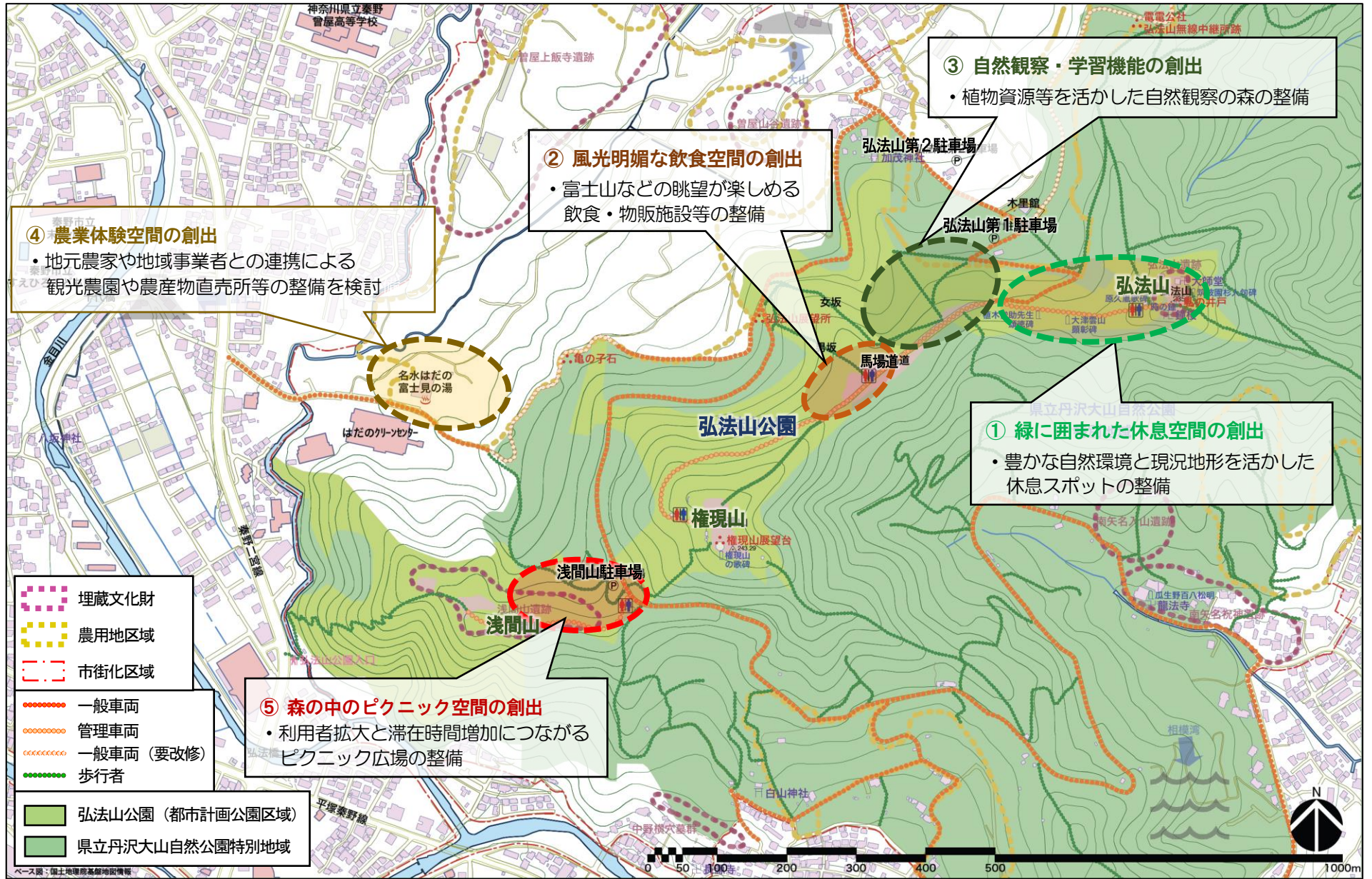


■ 基本方針 1：弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

5) 基本方針2：豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”




取組方針	主な検討内容	
<p>① 緑に囲まれた休息空間の創出</p>	<p>豊かな自然環境と現況地形を活かした休息スポットの整備  <b>【候補箇所】</b>                      弘法山付近                      ※ 写真：緑に囲まれた休息空間のイメージ</p>	
<p>② 風光明媚な飲食空間の創出</p>	<p>富士山などの眺望を楽しめる飲食・物販施設等の整備  <b>【候補箇所】</b>                      馬場道                      ※ 写真：眺望が楽しめる飲食空間のイメージ</p>	
<p>③ 自然観察・学習機能の創出</p>	<p>植物資源等を活かした自然観察の森の整備  <b>【候補箇所】</b>                      馬場道北東部                      ※ 写真：自然観察空間のイメージ</p>	
<p>④ 農業体験空間の創出</p>	<p>地元農家や地域事業者との連携による観光農園や農産物直売所等の整備  <b>【候補箇所】</b>                      「名水はだの富士見の湯」周辺                      ※ 写真：農業体験のイメージ</p>	
<p>⑤ 森の中のピクニック空間の創出</p>	<p>利用者拡大と滞在時間増加につながるピクニック広場の整備  <b>【候補箇所】</b>                      浅間山                      ※ 写真：ピクニック広場のイメージ</p>	

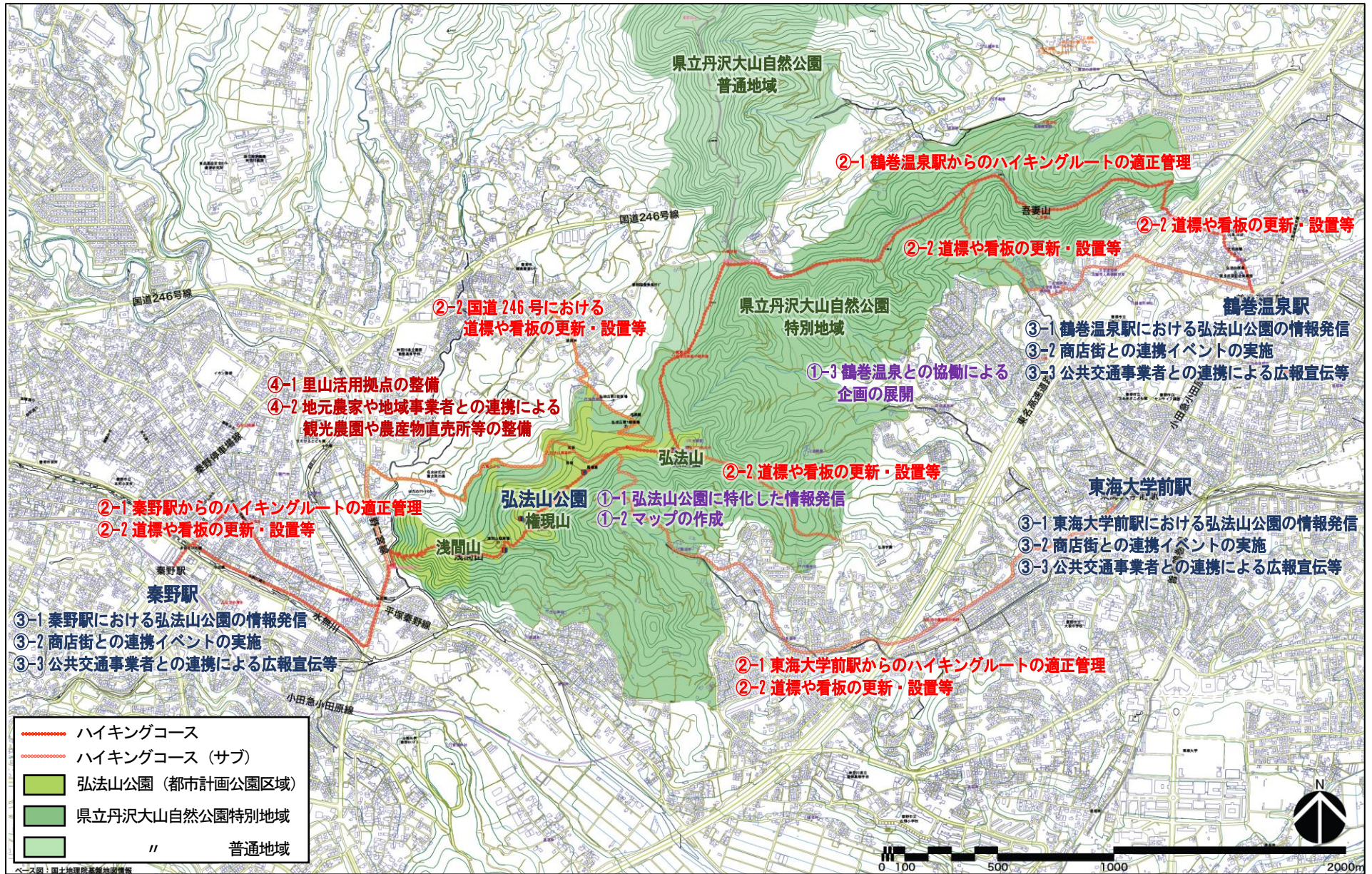




■ 基本方針 2：豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”

6) 基本方針3：弘法山公園を核としたネットワークによる“3駅のにぎわいづくり”

取組方針	主な検討内容
<p>① 弘法山公園を核とした地域活性化方策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘法山公園に特化した情報発信</li> <li>・マップの作成</li> <li>・鶴巻温泉との協働による企画の展開 等</li> </ul> <p>※ 写真：弘法山公園から行ける歩いて楽しい商店街マップ</p> 
<p>② 3駅や国道246号からの交通利便性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3駅や国道246号における道標や看板の設置</li> <li>・3駅からのハイキングコースの適正管理</li> <li>・公園への各入口周辺における道標や看板の更新・設置等（再掲） 等</li> </ul> <p>※ 写真：弘法山公園入口の道標</p> 
<p>③ 地域と連携した弘法山活性化の取組推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3駅における弘法山公園の情報発信</li> <li>・3駅の各商店街との連携イベントの実施</li> <li>・公共交通事業者等との協働による広報宣伝 等</li> </ul>
<p>④ 地域と連携した里山利用拠点の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山利用拠点の創出 （「名水はだの富士見の湯」や「はだのクリーンセンター」等との連携）</li> <li>・地元農家や地域事業者との連携による観光農園や農産物直売所等の整備（再掲） 等</li> </ul> <p>※写真：はだのクリーンセンター</p> 



■基本方針3：弘法山公園を核としたネットワークによる“3駅のにぎわいづくり”